

大阪府退教情報

23年5月17日発行 第27号
発行者:大阪府退職教職員連絡協議会 代表:林誠子
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11 大阪教組気付
電話 06-6762-7999

第33回 府退教定期総会 2023年度活動方針を決定 平和・人権・脱原発 持続可能な共生社会を

府退教は5月15日、大阪府教育会館（たかつガーデン）で第33回定期総会を開催した。

開会冒頭、議長に森山康浩さん（池田）と山下邦子さん（大阪市）を選出した。

平和・平等・民主主義を生み出す場に

挨拶に立った林誠子会長は、昨年度からの女性参画を推進する新しい規約の下で府退教を「平和・平等・民主主義を生み出す場にする」との決意で臨んだ一年を振り返った。2023年度は府退教において一層、この取り組みを進める決意を語りつつ、各単会における女性参画の促進を呼びかけた。【詳細3面】



挨拶を行う林会長

来賓として大阪教組、日退教近ブロ、大阪退連の代表をはじめ、日政連の「野村いくよ」枚方市議、「たつみ しんじ」富田林市議、「ふちがみ猛志」堺市議、「西川あり」八尾市議や、教職員共済などの福利団体代表の臨席を得て、23単会からの代議員が審議に加わった。

確かな変化が生まれた一年

第1号議案の2022年度経過報告では、「1. ジェンダー平等推進・民主的組織運営で組織強化を実践」の柱で、「公正なジェンダーバランスを確保しながら、女性参画からジェンダー平等推進へと大きな流れは始まり、確かな変化が生まれた一年」と総括した。

政治は命と暮らしの重要課題

「2. 民主主義が破壊された国際社会・日本・大阪の状況」では、ロシアのウクライナ侵攻、与党の横暴や維新政治に対して「政治の流れを変えることは命と暮らしを守るための最重要課題であることが、あらためて明確にな」ったと指摘した。

『新しい戦前』民主主義の危機

第2号議案の2023年度活動の基調と具体的取り組みでは、「1. 私たちを取り巻く社会状況と活動の基調」で、「日本はいま『新しい戦前』、民主主義の危機の時代を迎えている」との認識の下、「いのちと暮らし、『平和・人権・脱原発 持続可能な共生社会』を求める市民・国民であり続けたい」との活動の基調を示した。

日政連新人「塩崎 としえ」さん必勝を

「2. 具体的取り組み」には、(1)医療・介護・年金等、いのちと暮らしを守る、(2)平和・人権・脱原発 持続可能な共生社会を、(3)組織強化拡大の取り組み、(4)文化・生きがい活動、(5)政治・選挙活動の五つの柱で、各領域

の具体の取り組みを盛り込んだ。

特に(5)政治・選挙活動では、「③東大阪市議選（9月17日告示、24日投開票）においては、日政連予定候補「塩崎 としえ」さん（元東大阪市教組委員長・日教組中執）の必勝を目指して当該単会とともに積極的に取り組む」との強い決意を提起した。

会場にカンツォーネ

質疑応答では、岩崎泰司さん（大東）が文化活動として歌唱・音楽を取り入れることを提案。自ら「オー・ソレ・ミオ」を原詩で熱唱し、場内全員が聴き入る場面もあった。

全ての議案は全会一致で採択された。



賛成の意を示す代議員

日政連議員との学びと活動交流

日政連議員としての20年 これまでとりくんできたこと

枚方市議会議員 野村いくよさん

総会后、2023年度活動の具体的取り組みとして決まった「日政連議員等との学びと活動交流」の第1弾として、日政連大阪の代表である「野村いくよ」さん（枚方市議）による「日政連議員としての20年 これまでとりくんできたこと」の講演を受けた。

職場と組合 女性課題を中心に

野村さんは1980年から枚方市立中学校の英語科教員として勤務。その3年後からは枚方市教職員組合（枚教組）の女性部常任委員を振り出しに、女性部長や副執行委員長を務められ、職場と組合双方を場に、女性課題を中心に実践的な取り組みを重ねられた。

2003年4月の枚方市議選に初当選し、以来20年にわたる議員活動を続けられている。当初からの活動の柱は、◎「平和・人権・環境」を基軸に、◎学校現場の声を議会に届ける、◎「男女共同参画条例」「子どもの権利条例」の制定をめざす、と明確だ。

活動の成果は枚挙にいとまがない。ご本人に用意していただいた資料を紙幅に合わせて要約しようとしたが、急速に利用が広がる人工知能ChatGPTでもお手上げだった。ぜひ、野村さんのホームページから「市政報告だより」等を参照していただきたい。

「現場主義」と「当事者主義」

議員になっても、常に枚教組とともに野村さんの活動の源泉は「現場主義」「当事者主義」にある。一例は、枚教組の執行委員会・分責会議をはじめ各種行事への積極的な参加だ。「仕事場は議会と書記局」と聞いたことがある。枚教組の組合活動（対市要求等）と、野村さんの議会活動が両輪一体となっている。その意義と、成果はこの20年間変わることなく続いていることを実感させる。

常に感性を研ぎ澄まし、子ども、教職員、市井の生活者とともに歩んできた長年に及ぶ議員活動は感銘に満ちていた。【三村和男】



総会代議員のみなさん、本日は多数のご来賓をお迎えし総会が開催できたことを喜びたいと思います。

各団体からの来賓のみなさまには、常に組

織が歩むべき道や結集軸を示して連帯する仲間としての激励とご指導、ご支援をいただき感謝申し上げます。各市議会議員のみなさまには、地域における「共に生きる教育」の実現や、くらしの安心・福祉・介護・医療等の政策に深い関心を寄せ、政策実現のパートナーとしてご尽力いただいています。お礼を申し上げます。

府退教結成30年余りを経た昨年、私が会長の任務をいただき、女性参画率30%達成の役員構成で活動を始めるにあたり、私は一つのことを心に決めました。それは、府退教を<平和・平等・民主主義を生み出す場にする>という大層なことでしたが、これは未来を切り開き、世界に通じるものであると思います。

しかし、具体的に「すること」として打ち出したのは、実に地味なことでした。それは、先輩たちが築き上げてこられた活動の継承と、府退教全体の運営を可能な限り透明で民主的なものにする事です。全役員で進めてきました。

新しく始めた代表的なことは、『府退教情報』の発行です。各活動領域の担当者が自ら執筆して、デジタル配信で各単会に26号まで届けました。

現在、国際的にも国内的にも不穏な動きがあります。ロシアによるウクライナ侵攻は、出口の見えない混迷が続き、多くの命が双方ともに奪われ続けています。核が抑止力になるどころか、世界中で多くの市民が核の脅威におびえています。

国内では世界に誇る憲法を持ちながら、これを活かすどころか、国会審議もせず閣議で防衛費の増額を決め、敵基地攻撃を可能な日本にする、何があっても政治家の責任を不問にする政治がまかり通るなど、民主主義が大きく崩れた社会に向かっています。

大阪では維新の数の力による政治が、効率と競争原理を押し出し、自己責任論で乗り切る社会に

突き進んでいます。

こういう時代にこそ、内なる民主主義、足元からの民主主義の立て直しが、何よりも確実に大きな力になると考えます。「急がばまわれ」です。

民主主義は面倒だけれど、諦めずにそれが府退教や単会の組織風土となり、心地よく感じられるまでみなさんと一緒に続けたいのです。民主主義は、作物を育てるときの土壌づくりのように感じます。

この組織づくりは、ジェンダー平等の推進という世界的課題へのチャレンジでもあります。女性参画の目標として使われる30%は、クリティカルマスのとよばれる科学的根拠のあるものです。この数字に達したら劇的変化が生まれることが立証されています。目標をさらに引き上げ50%を実現すれば、より早い変化を生み出すに違いありません。

こうして府退教を、「平和・平等・民主主義を生み出す力を持った組織へ」と成長させていきましょう。みなさんが所属する組織でも女性の参画促進にチャレンジしてください。

「譲る勇気と、受ける覚悟」を双方がもって女性参画を進めることを呼びかけます。余人をもって代えがたい人は滅多にいません。退職者会の仕事はそれほど難しくはありません。仲間と一緒に知恵を出し合うことで出来るのです。

この一年がまさに、傍観者のいない女性参画30%体制で進めた変革の初年でした。確かな変化が生まれてきました。女性はもちろん、多くの男性もそう感じているでしょう。

春の統一自治体選挙では、大阪府知事・大阪市長選に谷口真由美さん・北野妙子さんの素晴らしい候補を得ながら、勝利はかないませんでした。

一方、枚方市「野村いくよ」さん、堺市「ふちがみ猛志」さん、八尾市「西川あり」さん、富田林市「たつみ しんじ」さんの4名の日政連候補の全員当選は、ご本人のご奮闘とみなさんの懸命な支援の結果です。

9月には東大阪市議選挙があります。「塩崎としこ」さんは、この3月末に退職をして立候補を表明され、大阪教組、府退教は日政連予定候補としての推薦を決定しました。必勝に向け、府退教・全単会挙げてのご支援をお願いし、ご挨拶とします。